スポーツと動画配信サービスの大きなチャンスを感じた130人を超える参加者たち

SVG主催「TV Everywhere JAPAN」開催

スポーツ動画配信サービスの現在位置と未来の方向性を示す

Sports Video Group（SVG）主催のカンファレンス「TV Everywhere JAPAN」が1月24日、都内で開催され、日本の放送局やOTT事業者など約130人が参加した。イベントでは、国内でも注目が高まっているTV Everywhereサービスや OTTの世界的なトレンド報告のほか、プロスポーツリーグ団体関係者を招いたパネルディスカッション、放送局による動画ライブ配信の動向報告など、さまざまな企画を用意。ここでは、そのカンファレンスの一部を報告する。（レポート:高瀬徹朗・本誌特別レポーター、写真:森下泰樹）

1万2,000団体が参加する「SVG」

主催のSVGは、スポーツ映像コンテンツの制作、配信、放送などをサポートするためにスポーツプロダクションやメーカー、スポーツリーグや放送局など関係者が集まって設立された業界団体で、メンバーは欧米で1万2,000団体が参加。スポンサー企業も300社を集めている。

日本でのカンファレンス開催は初めてだが、「今後は年次セミナーとして最新技術を議論したり、欧米のSVGメンバーと交流する行事としたい」（SVG Japanコーディネーター・小山直樹氏）と意欲を見せた。

また、8K放送など独自の最先端技術が進む日本について「日本市場をインスピレーションの源としたい」（SVG編集長・Ken